（医）慈正会　丸山記念総合病院　広報誌　　発行日　平成 25 年 1月　第 14 号

お元気ですか

題字は古川名誉院長

大盛況の「市民公開講座」を終えて

平成２４年１０月１３日に開催した「市民公開講座」は今回８回目を迎えました。今回は当院の理学療法士と歯科衛生士による「口腔ケアと摂食嚥下リハビリテーションについて」と題した講演を行いました。

理学療法士による「誤嚥性肺炎とその予防について」の講演では、手作りのイラストを用いて、嚥下のメカニズムや、誤嚥の原因、なぜ老化による誤嚥が起こるのかなどの解説が行われました。誤嚥予防については、職員がモデルとなり、食事の時の正しい姿勢や椅子の座り方など、注意すべきポイントを解説しました。その後、参加者全員で摂食・嚥下体操を行いました。

歯科衛生士による「口腔ケアと誤嚥性肺炎について」の講演では、“９０歳以上のご高齢者の死因をみると、誤嚥性肺炎は脳血管疾患を抜き、がん・心疾患に続いて３番目に高い”と言う話があり、誤嚥性肺炎の怖さ、予防の重要性が再認識されました。誤嚥性肺炎を予防するには、口の中を清潔に保ち、感染の原因となる菌を除去することが大切です。口の中の汚れの話では、「食物残渣」「歯垢・歯石」「舌苔」の状態を写真で解説しました。「食物残渣」はうがいだけでも充分きれいになりますが、放っておくと口の中で菌が繁殖してしまいます。実際、菌が増えていく様子を動画で見ていただきました。

歯磨きの手順・方法については、大きな歯の模型を使い、ユーモアを交えながら、わかりやすく解説しました。解説終了後には参加者の皆様から活発な質疑応答があり、大盛況の内に講演は閉幕しました。

丸山記念総合病院の理念・基本方針

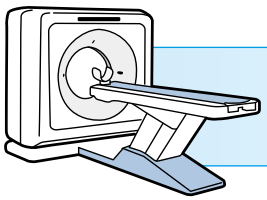
理念

1．安全な医療の提供
2．誠意ある対応
3．地域との関わり合い

基本方針

1．接遇に心がけ、心の通う患者様本位の医療を進めます。
2．院内のチーム連携により質の高い安全な医療を進めます。
3．地域の救急医療の中心的役割を担います。
4．地域との連携を積極的に進めます。
5．患者様を尊重し情報の開示と十分な説明に努めます。
6．地域に貢献できる医療人を目指します。
7．医療の質を確保するため病院の経営健全化に努めます。

新規導入機器について



ＣＴ装置が新しくなりました

この度、当院のＣＴ装置が新しくなりました。導入した装置は、最新鋭の６４列マルチスライスＣＴ装置（ドイツSIEMENS社製SOMATOM　Perspective　写真１）。この装置は、埼玉県内で初の導入です。

従来のＣＴ装置と比べて

- 検査時間が大幅に短縮致しますので、患者様にやさしい装置設計となっています。
- 高度なＣＴ検査が可能となり、人体を３次元表示であらゆる方向から見ることができます。
- 最新のテクノロジーにより、低被ばくでの撮影が可能です。
- ６４スライス、ハイピッチ撮影が実現するスキャンスピードにより、様々な部位の検査が１０秒以内で行えます。

写真1　ドイツSIEMENS社製SOMATOM　Perspective

このＣＴはＸ線を受ける検出器の感度が非常に良いため、少ないＸ線量で高画質の撮影が可能となります。被ばくに対し、非常に配慮し設計されておりますので、安心して検査を受けていただくことが可能です。

また、心臓ＣＴ撮影も可能になりました（写真２）。患者様の心拍数を常にモニターし、最適な条件で撮影を行います。

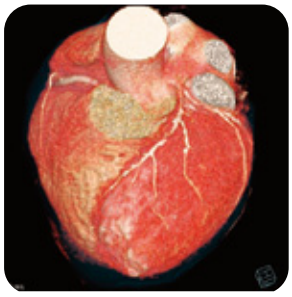


写真２　心臓のＣＴ画像

ＣＴ装置導入に合わせて、造影剤の自動注入器とワークステーションも新しくしました。造影剤自動注入器では体重を入力するだけで、造影剤の量を決定したり、自動でいくつかのパターンを組み込んだりすることが出来るため、安全で安心の医療に結びつきます。

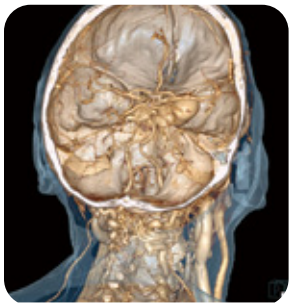
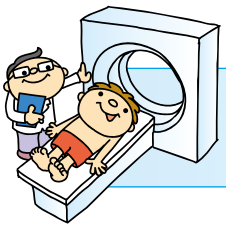


写真３　頭部の血管画像

写真４　腹部の血管画像

ＣＴ画像は、処理を加えないと２次元の画像ですが、ワークステーションで処理をすることで、３次元の立体感のある画像に加工する事ができます。頭部や腹部の血管を立体的に描出することが可能です（写真３、写真４）。また歯科のインプラントＣＴについても画像処理をし、歯列に合わせた画像の描出が可能です。



ＭＲＩ装置が新しくなりました

診断能力の更なる向上の一環としまして、最新鋭の1.5テスラＭＲＩ装置（ドイツＳＩＥＭＥＮＳ社製ＭＡＧＮＥＴＯＭ　Ｓｙｍｐｈｏｎｙ　写真５）のアップグレード（技術改良）を行ないました。

従来のMRI装置と比べて

- 撮像コイルが改良され短時間で高画質を得ることができます。
- 呼吸や体動による画像ボケを抑制する機構を備えており、 お年寄りや、小児、長時間の息止めの困難な被検者に対し負担を軽減することができます。
- 最新の撮影ソフトウェアを搭載しておりますので、高速且つ安全に検査を受けて頂けます。

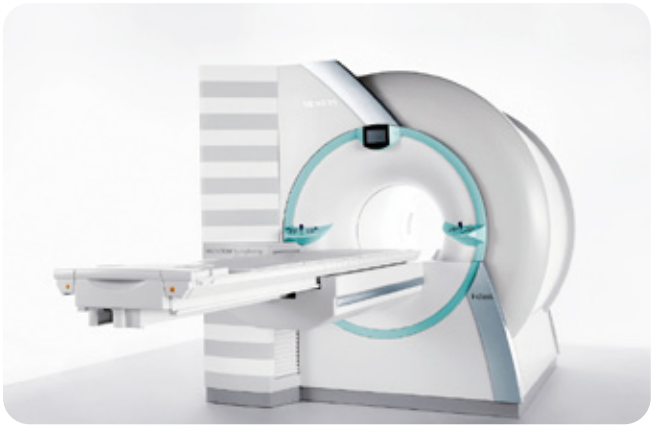


写真5　1.5テスラMRI装置（ドイツSIEMENS社製MAGNETOM　Symphony）

ＭＲＩはＸ線の被ばくが無く、磁石と電磁波を用いて全身の画像を得ることができます。ＭＲＩはコイルというアンテナを介し、静磁場と電磁波を用いて画像を作ります。このコイルの感度が良ければ、短時間で高画質の画像を得ることができます。この度のバージョンアップでこのコイルを改良することにより、特に乳房領域において、高画質撮像が可能となりました。微細な血管や乳管をより高精細な画像で観察でき、画像ボケがより軽減され、病変の辺縁や内部構造、乳管癌の進展状態が観察し易くなりました（写真６）。

ＭＲＩ装置で血管の撮影を行う時、多くの場合造影剤を使います。今回のバージョンアップでは、造影剤を使用せずに血管の撮影が出来る部位が増えましたので、患者様の負担を大きく軽減でき、安全に検査を受けていただくことが可能となります。造影剤を用いず、非侵襲で安全に下肢のＭＲＡ像（写真７）が得られます。※検査の内容によっては造影検査を行います。

今後も患者様のために、よりよい検査ができるよう放射線科一同精一杯努力いたしますので、ご理解のほど宜しくお願いします。また検査に対する疑問や質問、放射線被ばくに関する問い合わせなど診療放射線技師へおたずねください。

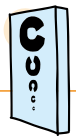
写真６　１６チャンネル乳房用コイル

写真７　下肢のＭＲＡ像

部署紹介

眼　科

～よりよい見え方のために～



みなさんはクォリティオブビジョン（Ｑｕａｌｉｔｙ　Ｏｆ　Ｖｉｓｉｏｎ）という言葉をご存知でしょうか。ＱＯＶとは「見え方の質」を意味します。ＱＯＶの低下を防ぎ、ものが見やすい状態で生活することが、快適な人生を送ることにつながるという考え方です。

映画を見る、本を読む、景色を眺める――私たちが営む日常生活では、眼を使う場面が多々あります。外界から取り入れられる情報の８０％は視覚によるものと言われています。

そんな眼に関する疾患を取り扱っているのが、本館２階にある眼科です。ここでは角膜疾患、水晶体疾患、網膜疾患など多くの病気を取り扱っています。その中でも多いのが白内障と緑内障です。

＜白内障＞

白内障とは眼の中の水晶体と呼ばれる部分が白く濁る病気です。水晶体はカメラでいうレンズの役割を果たしています。そのため、透明な水晶体が濁ると、ものがかすんだり、まぶしさを感じたりするようになります。

写真１のように濁りが強いと、生活に支障が出るほど視力が大きく低下します。眼科では、この白内障に対する手術を行っています。手術では濁った水晶体を取り除き、代わりに人工のレンズを入れます。写真２は眼底（眼の奥）の写真を手術の前後で並べたものです。手術前は白内障のために眼底を覗き見ることができませんでしたが、手術後は濁りが取れたため眼底をしっかり観察することができます。

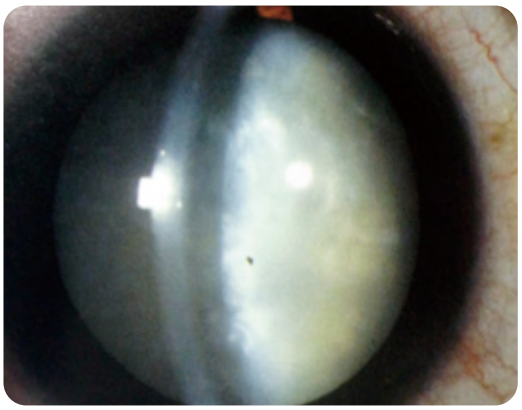


写真１　白内障（白濁した水晶体）

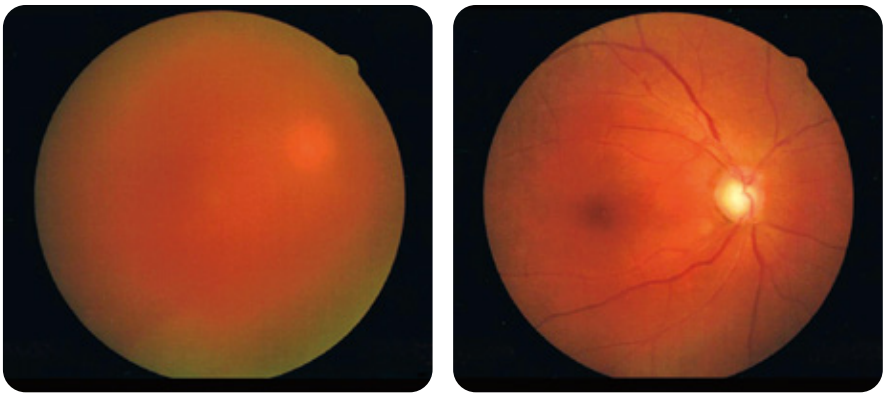


写真２　白内障手術前 ――――――→ 手術後

＜緑内障＞

緑内障とは視神経がダメージを受けることにより、徐々に視野（見ることのできる範囲）が欠けてくる病気です。緑内障の診断には眼圧（眼の硬さ）の検査、眼底写真、視野検査が必要です。なかでも視野検査は、視野の状態を把握するためにとても重要な検査です。

写真３は視野検査の結果の図です。黒くなっている部分が見ることのできない範囲です。緑内障の進行によって視野が欠けていく様子が分かります。病気の進行とともに見えない範囲は広がり、最終的には失明してしまいます。緑内障で一度欠けてしまった視野は元に戻りません。

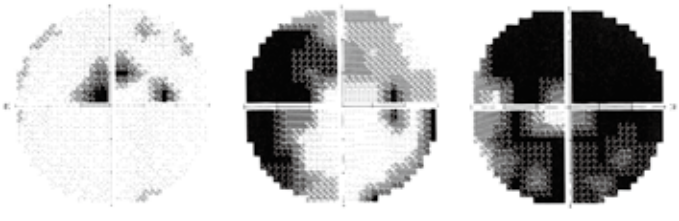


写真３　緑内障による視野変化

また、視野が大きく欠損しているにも関わらず、気が付かないケースがあります。普段両方の眼を使ってものを見ていると、片眼の視野が欠けていても反対側の眼がその視野を補ってしまうためです。そうならないためにも、緑内障を早めに発見し治療を開始する必要があります。治療法は病気の進行を抑えることが大切で、点眼薬によるものが主となります。

以上のような疾患のほかにも、眼の病気は多くあります。見え方に不便を感じたり、眼に関して気になったりすることがありましたら、ぜひ眼科でご相談ください。医師、看護師、視能訓練士、受付、眼科スタッフ一同（写真４）がお待ちしております。高いクォリティオブビジョンを維持するためには、眼を健康に保つことが大事です。病気の早期発見・早期治療により、いつまでもクリアな視界で生活しましょう。

写真４　眼科スタッフ一同

新任医師紹介

①診療担当科・役職　②資格等

髙橋　幸成
（たかはし　よしのり）

微力ながら皆様の健康に貢献したく存じます。よろしくお願い申し上げます。

① 内科医員
② 日本内科学会 認定内科医、総合内科専門医
日本呼吸器学会 専門医、指導医
日本呼吸器内視鏡学会 専門医、指導医
日本遺伝カウンセリング学会 臨床遺伝専門医
日本臨床腫瘍学会 暫定指導医
肺がんＣＴ検診認定機構 肺がんＣＴ検診認定医師

平成24年度新人職員郊外研修を行いました。

日常の業務から離れ、自然に親しみリフレッシュを図るという研修目的にて、平成２４年１０月３日（水）に栃木県益子町へ行ってまいりました。

陶芸手びねり体験を通して、新人職員が実地指導者、教育担当者との交流を図りました。また、今回は看護部以外の他部署新人も参加しましたので、にぎやかな同期の研修になりました。

レインボークリニックが移転しました。

予約制の健診専門施設であるレインボークリニックが、平成２４年１０月１日に岩槻駅前 ワッツ東館２階へ移転しました。以前より利便性が向上し、ご利用いただきやすくなりました。

受診される皆様が安心して健診を受けられるよう、職員一同誠意ある対応を心がけております。皆様からのご予約・ご利用をお待ちしております。

節電への取り組み

当院では、院内の照明を一部消灯するなど、節電に努めております。
ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願い致します。

お 薬 の 情 報

お薬の保管について

薬は特に指示がない場合、室温（１５℃～２５℃）で日光や過剰な湿気を避けて、お子さまの手の届かない所に保管するのが適切です。

お薬別の保管法

粉薬（散・細粒・ドライシロップなど）

粉薬は直射日光に当たると溶けたり、湿気で固まったりすることがあります。密閉できる容器に入れ保管します。

水薬・シロップ

特に指示がない場合、冷蔵庫に保管します。服用期間を過ぎたものや、２週間以上たったものは処分してください。（ただし、長期間続けて飲むお薬は該当しません。）

坐薬

ほとんどの坐薬は体温で溶けるようになっているため、高温では溶けてしまったり、薬の成分が変質したりすることがあります。室温保存でよいものを除き、冷蔵庫に保管します。

点眼薬・点耳薬

特に冷蔵庫に保管する必要があるものを除き、室温で保管します。一般的に開封後の期限は1ヵ月とされていますが、中には開封後1週間程度しか期限がないものもありますので、開封後の使用期限が記載されているものは注意が必要です。また遮光して保管する必要があるものは、お薬と一緒にお渡しする専用の小袋に入れて保管します。

インスリン注射液

インスリンは直射日光と高温に弱いため、基本的には冷蔵庫に保管します。冷気の吹き出し口付近で保管し凍結させないよう、扉側に置くなどして注意してください。
ただし使用し始めたペン型注射器またはペン型注射器に入れたカートリッジは結露による注入器の故障を防ぐため、直射日光と高温になる場所を避けて室温で保管します。

山口赤十字病院様のホームページより改変させていただきました。

「食品税」でメタボ対策?!

日本ではメタボ対策としていろいろな取り組みが実施されています。海外でも様々な面で対策や計画を立てているようです。その中でも「課税制度」を取り入れ始めた二つの国を紹介します。

ハンガリーでは２０１１年９月より「国民健康推進税（通称：ポテトチップス税）」が導入されました。塩分や糖分の高いスナック菓子や清涼飲料水などに課税され、値段が上がることで消費を減らし、国民の健康増進を狙いとしているようです。

また、デンマークでは２０１１年１０月より飽和脂肪酸※の多い食品に課税する『脂肪税』を導入しました。バター、チーズ、肉、加工食品が主な対象食材です。酪農王国で知られているデンマークですが、その背景には肥満対策に加え、他のＥＵ諸国に比べ短い平均寿命を延ばす目的もあるようです。

※飽和脂肪酸
肉や乳製品に多く含まれます。エネルギー源や細胞膜の材料ですが摂りすぎると肥満や動脈硬化を引き起こします。

世界中で健康志向の高まる現在、成人だけでなく子供の肥満や疾病（糖尿病など）が深刻な問題となっています。大事なのは、「予防しようとする意識!!」まずは自分の食生活から見直してみませんか？

管理栄養士　城本幸代

2013年(平成25年)丸山記念総合病院≪休診日カレンダー≫

■休診日：毎週水曜日、毎月第一日曜日、祝日　■赤字は休診日です。■５月６日(月)は診療いたします。
■お盆の時期と年末年始につきましては、当カレンダーをご参照ください。
■当院ホームページ http://www.maruyama-hp.or.jp/にも掲載しております。

１月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

２月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

３月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

４月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

５月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

６月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

７月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

８月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

９月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

広報誌“お元気ですか”第14号　平成25年１月　丸山記念総合病院 広報委員会

◆さいたま市岩槻区本町2−10−5　◆TEL048−757−3511　◆FAX048−756−6061　◆URL http://www.maruyama-hp.or.jp/

皆様の健康をお預かりする、地域に愛される丸山記念総合病院であるために職員一丸となって、
努力いたします。この広報誌へのご意見、ご感想等をお待ちしております。　広報委員会

医療法人 慈正会

丸山記念総合病院

日本医療機能評価機構認定病院

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構